



お元気ですか！
志村 たかよしです

第707号 2014年8月31日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

郡山市の放射能除染作業と 郡山地方卸売市場を視察



市役所周辺の道路除染で出た土などを保管＝市役所駐車場

福島第1原発事故の影響は広範囲にわたり、放射能に汚染された地域の自治体は、除染作業など困難な課題に直面しています。とくに除染土壌を処理する場所の確保は、大変な苦勞です。

7月19日、私は、やっと「仮置き場」が決まり、今年度から整備が始まった郡山市を視察しました。

「仮置き場」は、市役所駐車場（上写真）、公園（下写真）、福島



福島県農業センター敷地の一部も仮置き場に。

県農業センター敷地（左写真）の一部を使っています。

「仮置き場」は、中間貯蔵施設が決まるまでとなっていますが、中間貯蔵施設自体が、いつできるのか明確になっていない状況です。

市の説明によると、保管方法は、公園（香久池、荒池西）と市役所駐車場では、遮水シート等で除去土壌等を包んだ状態で、地下に埋設して、その上に30cm以上の覆土をします。

また、農業センター敷地の方は地上保管で、フレキシブルコンテナに除去土壌等を入れ、周囲に（裏面へ）



除染前2.72 μSv→除染後0.39 μSv＝香久池



香久池公園内に囲いを作った仮置き場整備工事

遮へい用の土のうを置き、遮水シートで覆います。

保管するのは、「仮置き場」となる市役所や公園の周辺道路の除染で出た除去土壌などです。

近くに「かぐいけ保育所」がある香久池公園には、除染前の放射線量が毎時2・72マイクロシーベルト(μSv)だったものが、現在は0・39μSvになったという看板が立っていました(表写真)。

荒池西公園は、小さい子向けの遊具がある緑の公園ですが、その一角に仮置き場整備工事が行われ



楕円が工事現場。四角内は測定器＝荒池西公園

ていました。

公園には、モニタリングポスト(放射線測定器)があり、その数値は、0・202μSvでした。

どちらの公園も工事関係者以外に大人も子どももいませんでした。がらんとした公園を眺めていると、原発事故前には普通だっただろう、子どもたちが遊ぶ歓声が聞こえてくるようでした。あらためて、原発事故の影響の大きさを感しました。

安倍政権による「原発再稼働」の強行は絶対に許されません。



モニタリングポスト値は0.202μSv＝荒池西公園

放射能測定室がある郡山市地方卸売市場を視察

郡山市地方卸売市場を訪問しました。

私は、築地市場で18年間働いてきましたから、全国どの市場に行っても、そのおいと雰囲気に触れるとホッとします。

市場内には、一般の人も利用できる「市場食堂」がありました。また、放射能測定室があり、ここでも原発事故の影響を感じました。



朝の仕事が一段落した水産仲卸の様子。



築地でもおなじみのマグロの解体作業。



市場施設に「放射能測定」の部屋が…。

「意見」「要望など、お気軽に」連絡ください(0242-600000)